

2024年3月期 通期決算説明会

アステリア株式会社
(東証プライム:3853)

2024年5月14日

会社概要

アステリア株式会社

アステリア株式会社

◆本社事業 ✓ 企業向けソフトウェア製品の
開発・販売

◆子会社 ✓ AI研究開発(日本)
✓ ソフトウェア開発(シンガポール、中国)
✓ 企業投資(米国)

◆市場
◆設立
◆資本金
◆従業員数

東証プライム(3853)

1998年9月

22億7,534万円

128名(連結)

※This Place 売却のため減少

(2024年3月31日現在)

ソフト業界で
ノーコード
ブロックチェーン
ウェルビーイング
など先進分野を
牽引!!



サイボウズ等と2022年に発足

ノーコード推進協会



ブロックチェーン推進協会



国内最大のブロックチェーン団体



CWO(最高ウェルビーイング
責任者)を新設



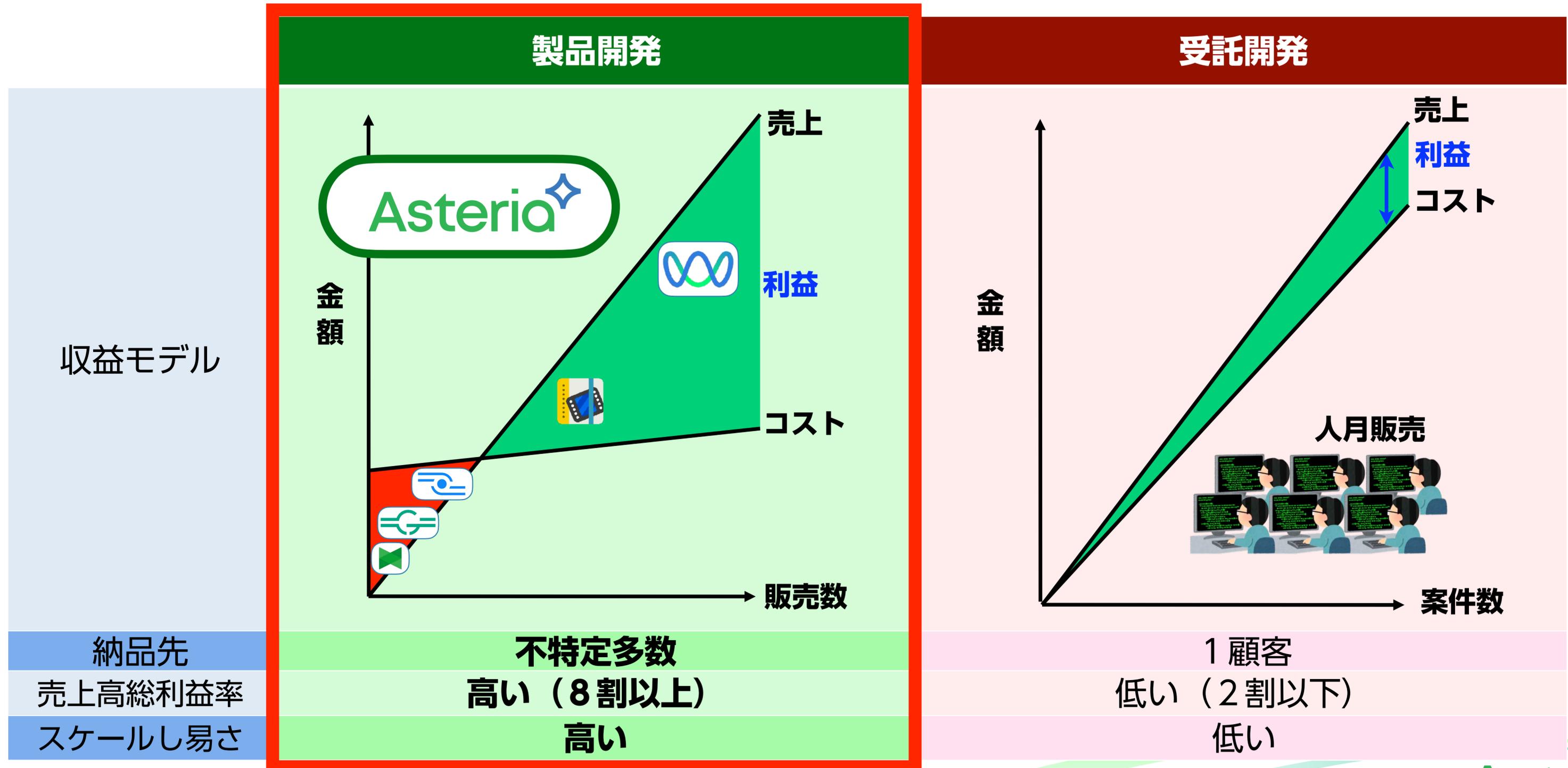
ソフトウェア業界を取り巻く変化



当社ノーコード製品の需要が拡大

※1:デジタル田園都市構想総合戦略2023改定版
 ※2:経済産業省:IT人材需給に関する調査 調査報告書

製品開発（ソフトウェアメーカー）と受託開発の違い



ソフトウェア事業のビジネスモデル

ビジネス用ソフトウェアメーカーとして製品開発に特化

7割以上がストック売上

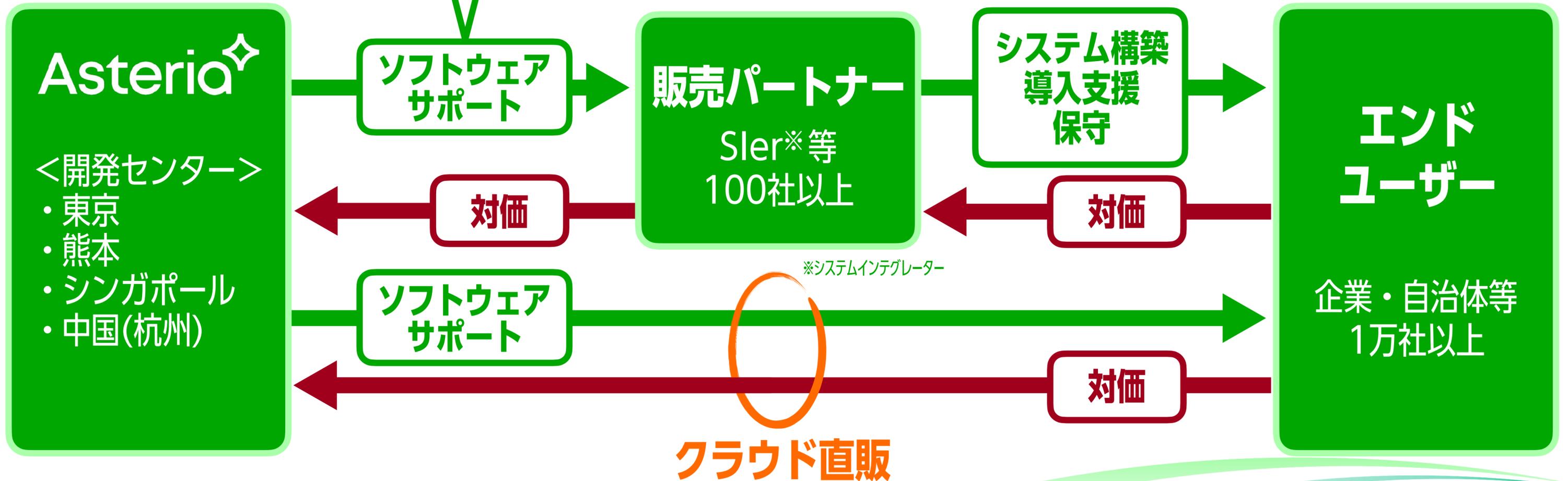
(継続課金型：サブスク+サポート)

Asteria[◇] warp

Handbook[®] X

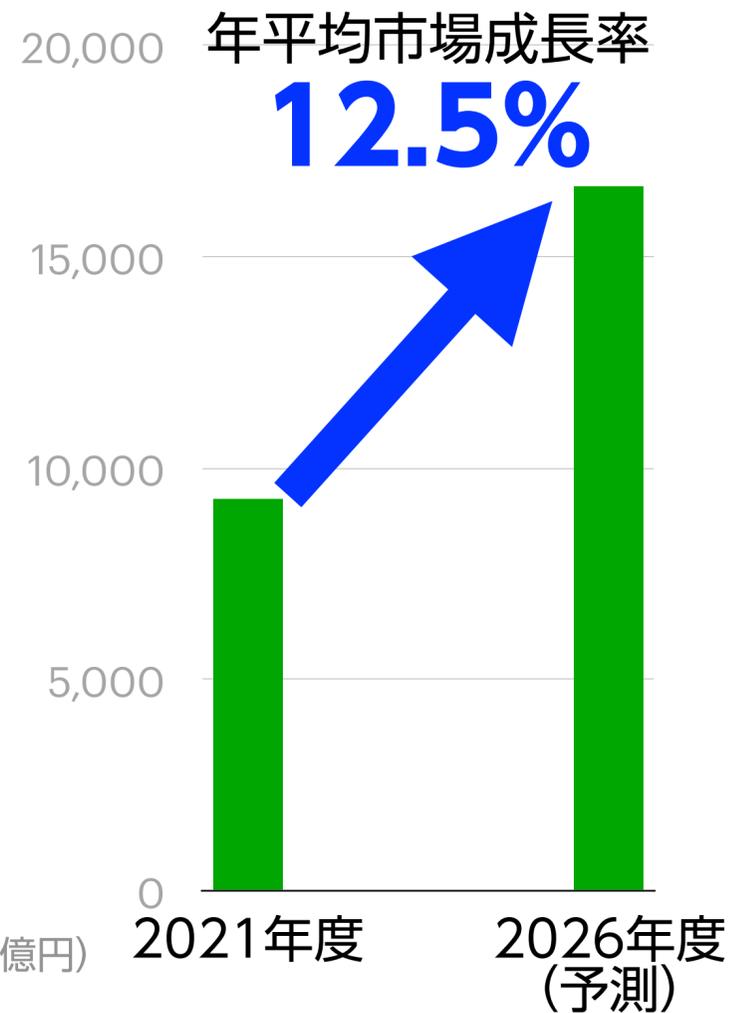
Platio

Gravio

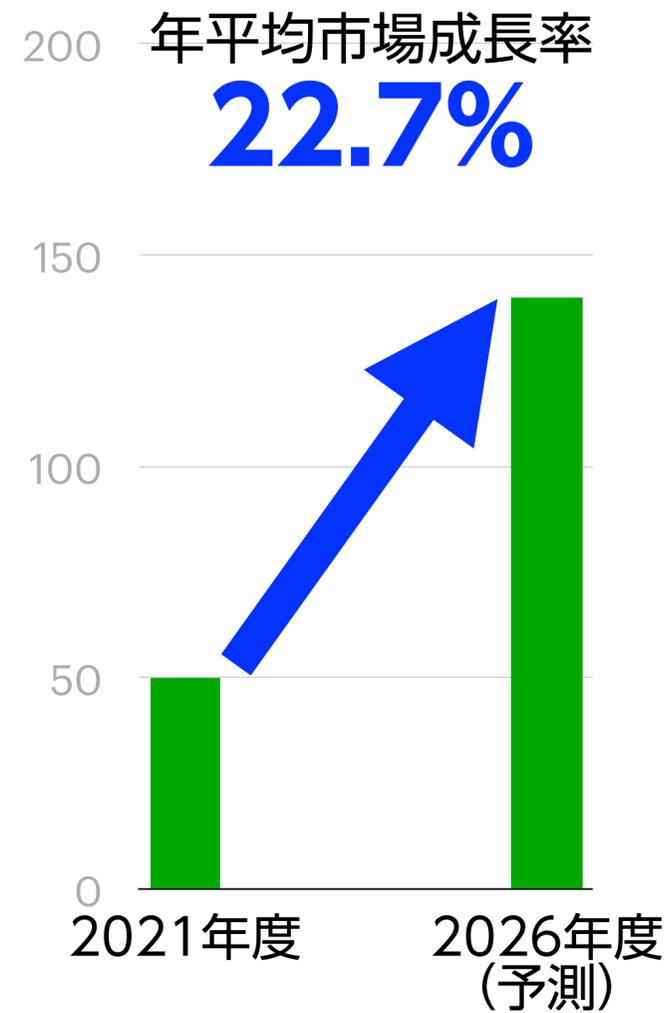


注力領域は技術優位性が生きる成長市場

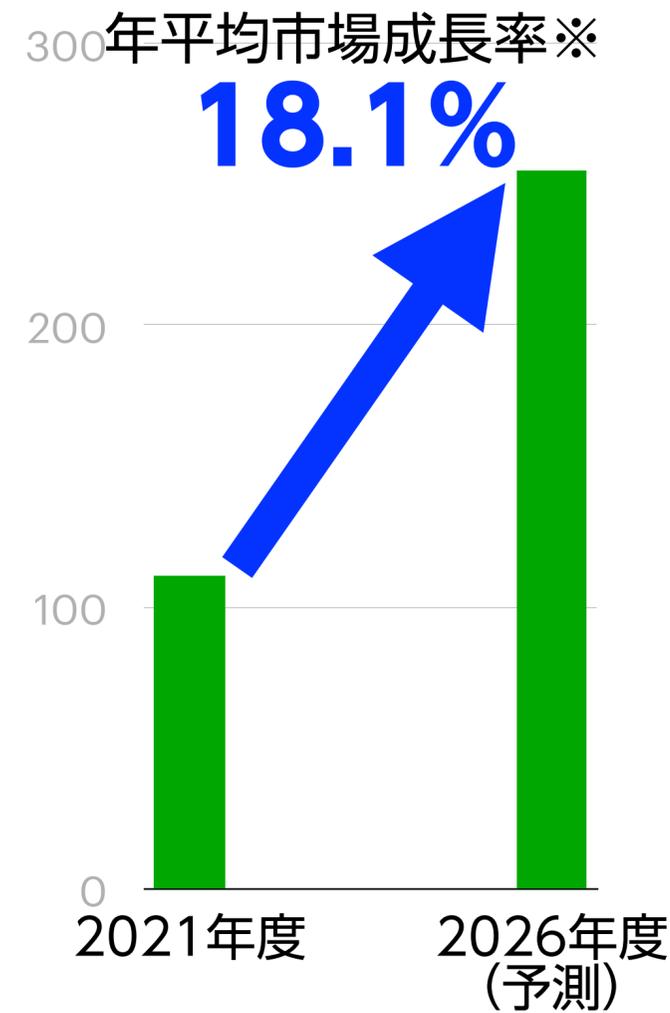
SaaS



iPaaS



ノーコード



AI

全製品で技術活用



(AI専業子会社)
**Asteria
ART**
2019年設立

出典：株式会社富士キメラ総研「ソフトウェアビジネス新市場 2022年版」

※ 「ウェブDB/ノーコードは開発ツール」の市場規模を使用

データ連携ツール「ASTERIA Warp」



さまざまなデータを自動で連携するシステムを構築

- 様々な**データ形式**や**通信手順**を各システムに合わせて変換
- 転記や変換の手入力も不要になり業務プロセスを**自動化**
- EAI, MDM, ETL, EDIなど**様々なデータ連携**用途に実績

「ノーコード」でのデータ連携が業務改革に貢献

モバイルアプリ作成ツールPlatio(プラティオ)

◆ 誰でも簡単に自社の業務に合ったモバイルアプリの作成・活用が可能

- ✓ iOS, Android対応
- ✓ 作成したアプリはすぐに配信して現場で利用可能
- ✓ 入力されたデータの変化をPlatioが検知し自動でお知らせ
- ✓ 配信したアプリは何回でも修正・更新が可能



出典:デロイトトーマツ ミック経済研究所 ミックITリポート2024年2月号「B2Bノーコードモバイルアプリ作成ツール市場2023」



Platio

さまざまな業種業態の現場に適応できる100種以上のテンプレート



ノーコードでアプリを作成

デジタルコンテンツプラットフォーム 「Handbook X」



Handbook® X

PDFから動画、YouTube、画像も
ワンストップでアプリへの
登録・閲覧・共有が可能

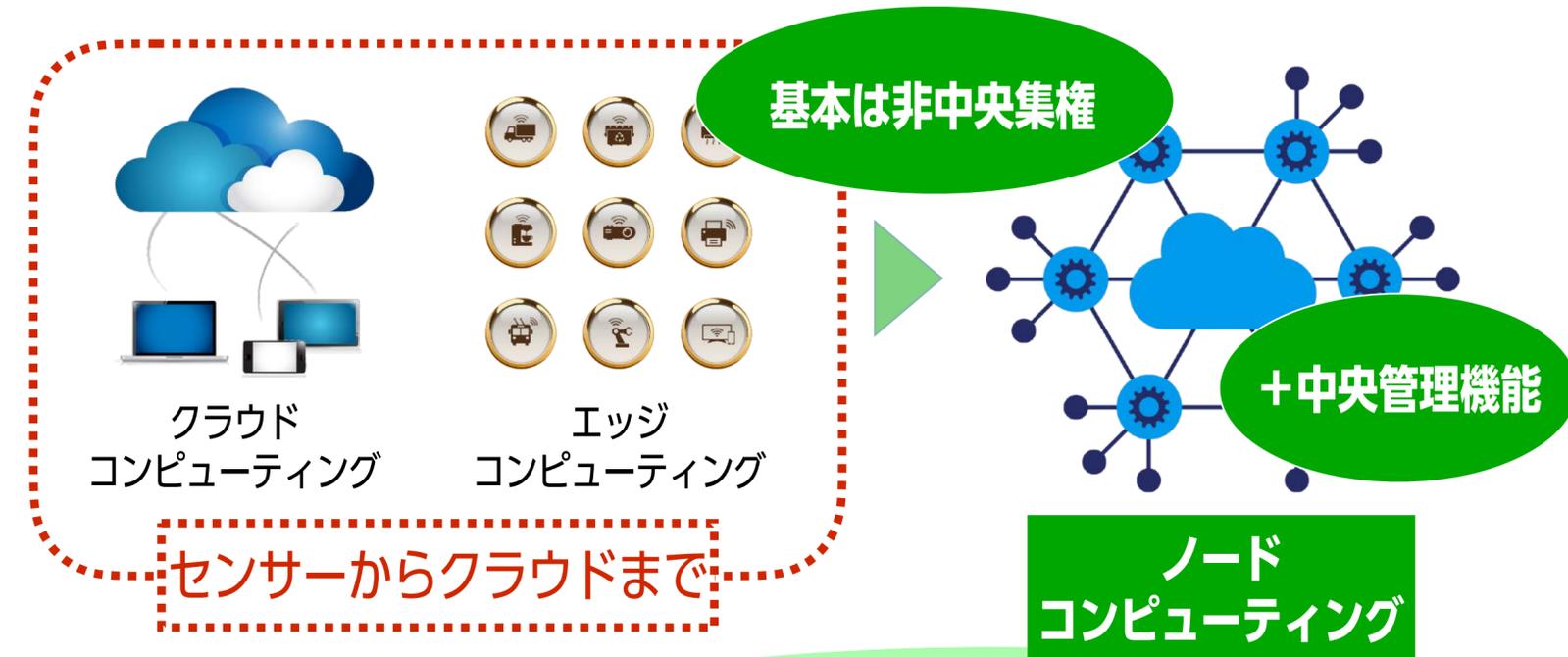


AI/IoTプラットフォーム 「Gravio」



Gravio

センサーからクラウドまで
あらゆる現場で収集されたデータを
統合的に連携&管理



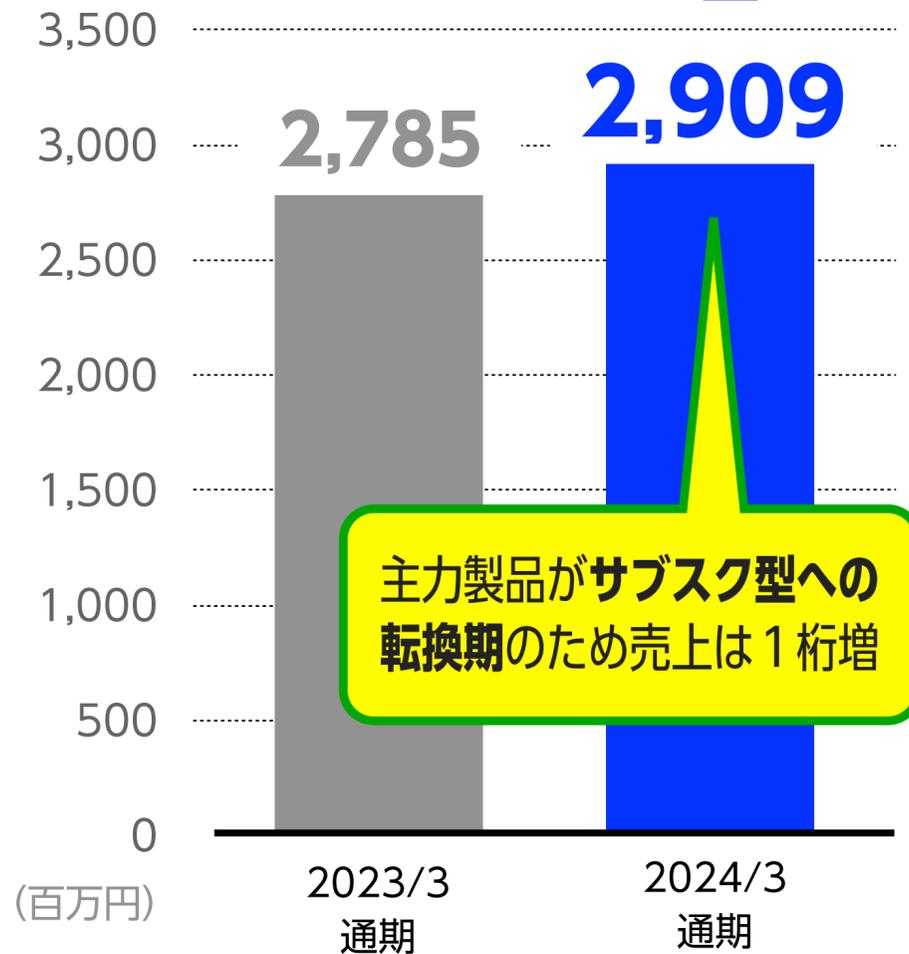
決算概要

2024年3月期 通期決算
(国際会計基準 = IFRS)

売上収益から調整後EBITDAまで (前期比)

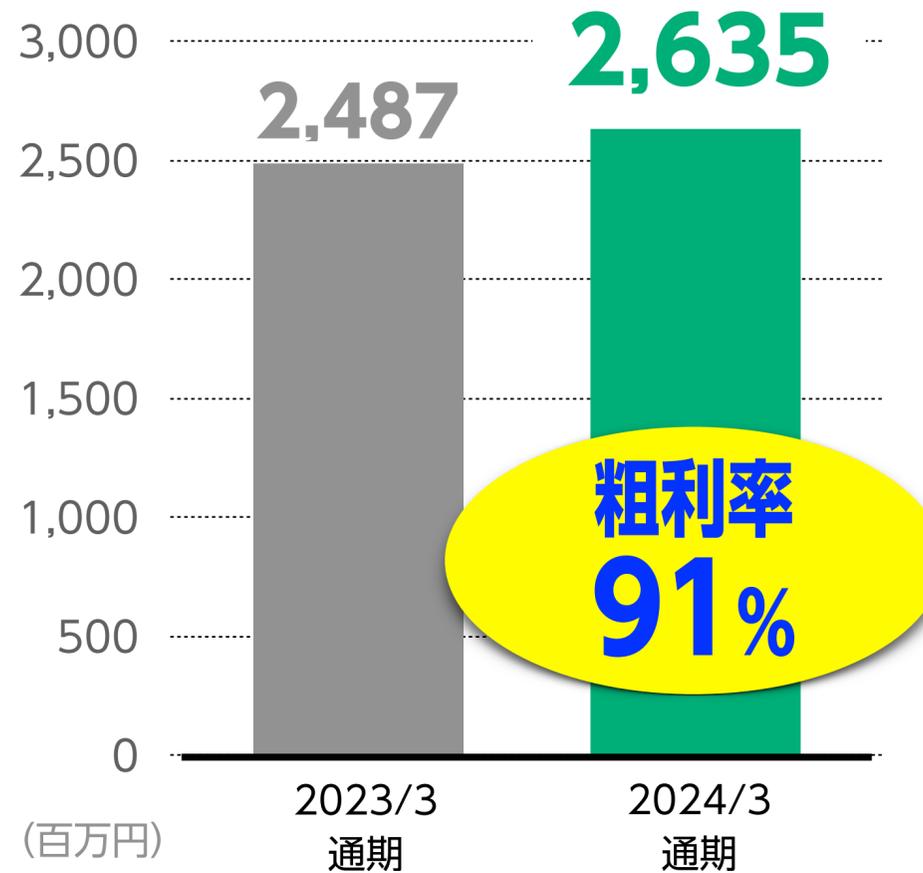
売上収益

4.4%増



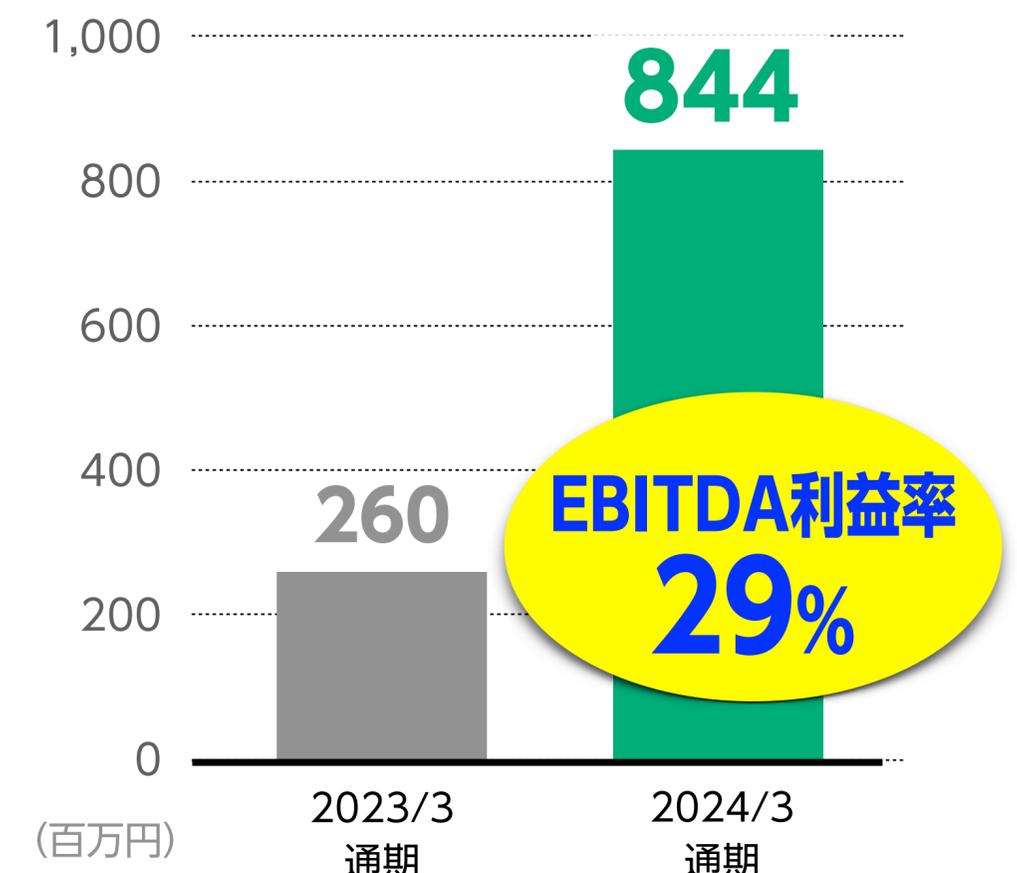
売上総利益 (粗利)

5.9%増



EBITDA※

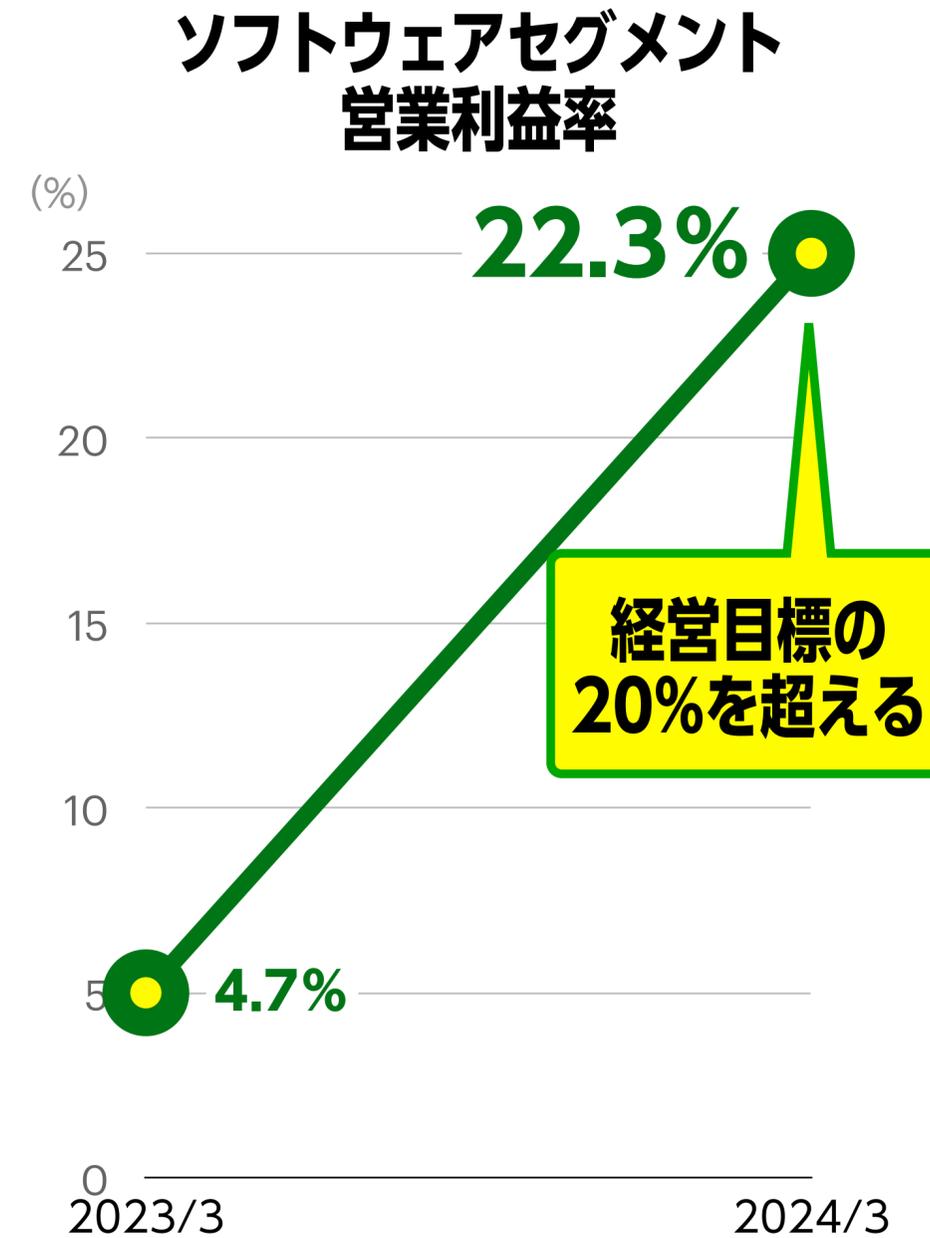
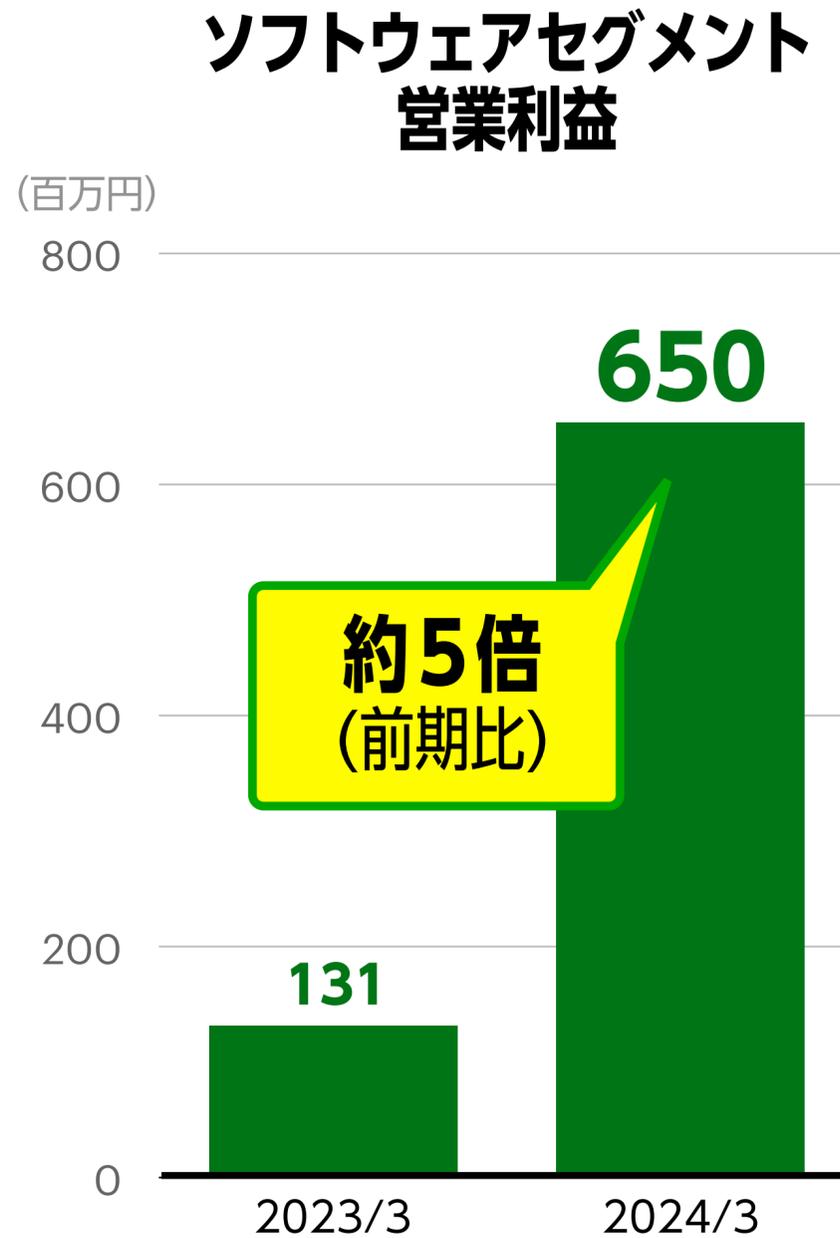
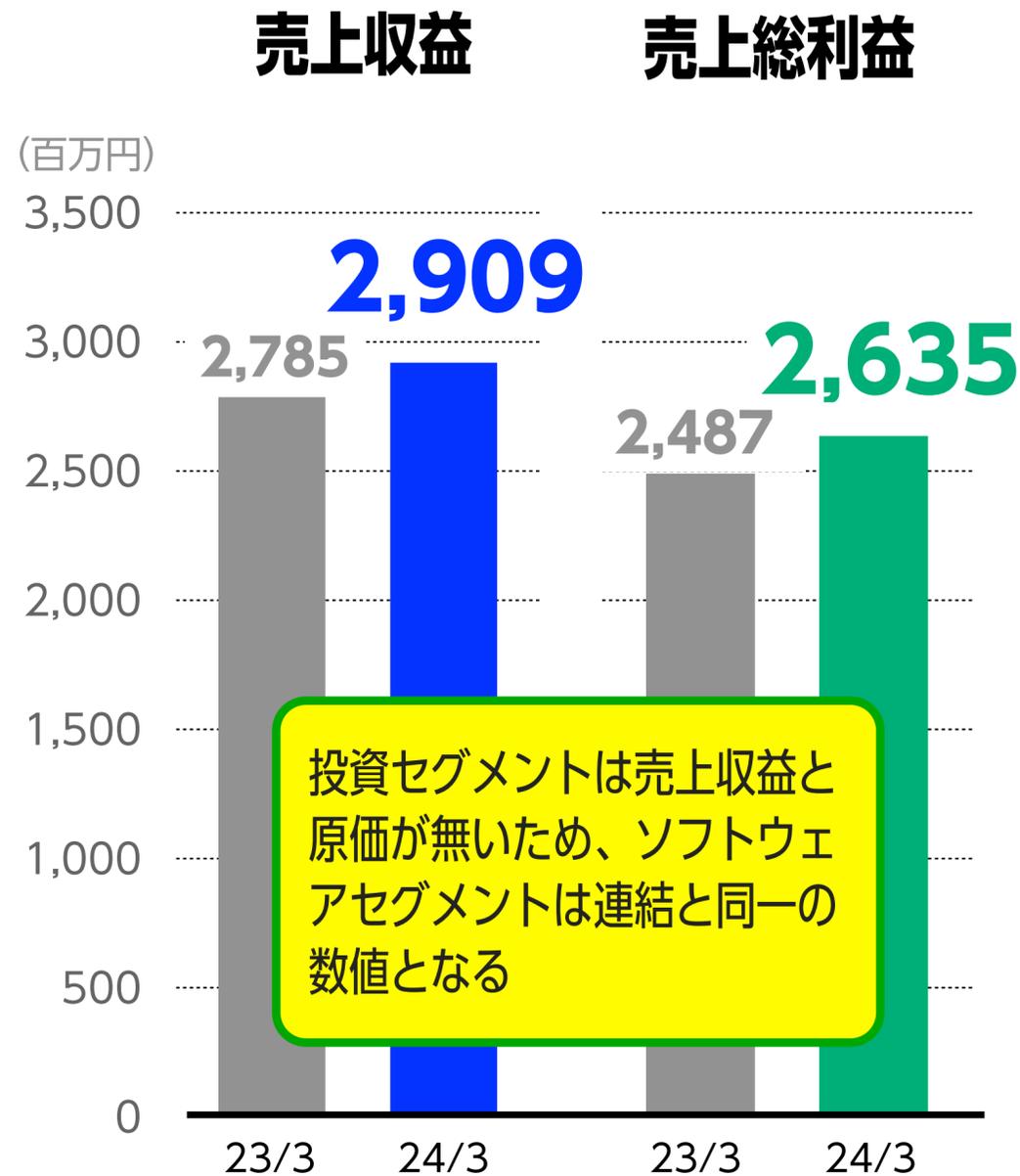
225%増



※This Place売却(3月22日付)により、継続事業となるソフトウェア事業のみ金額を表示

※EBITDAは、調整後EBITDA:営業利益+減価償却費±その他の調整項目(のれん減損、未実現買収対価、投資事業にかかる未実現評価損益等)

ソフトウェアセグメントの収益推移



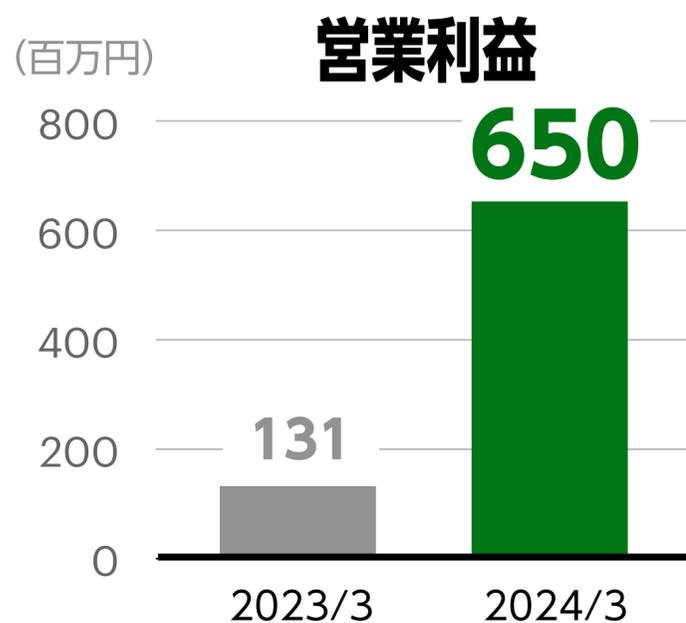
※This Place売却(3月22日付)により、継続事業となるソフトウェア事業のみ金額を表示

投資先株価下落が連結利益に大きく影響

ソフトウェア セグメント

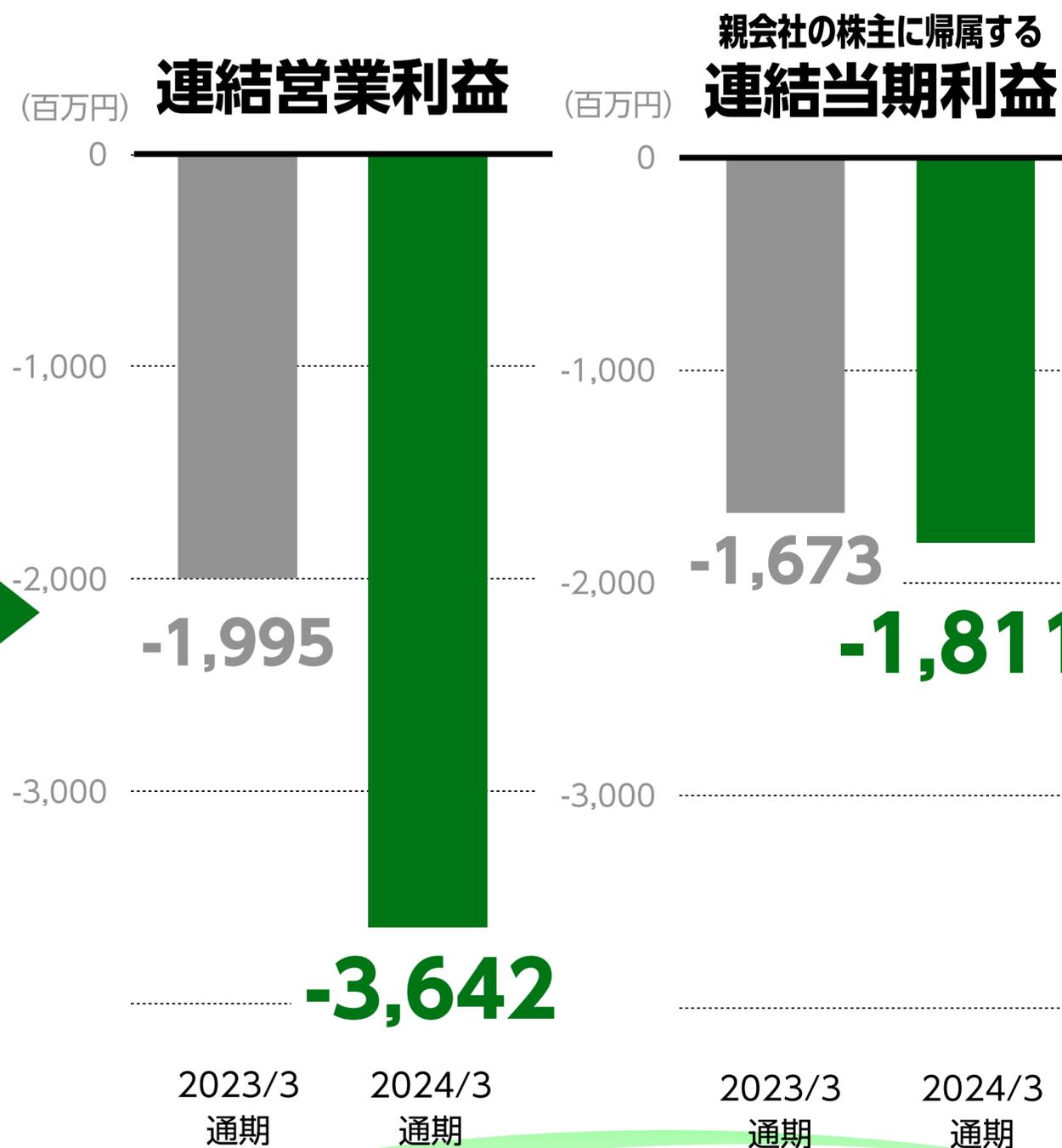
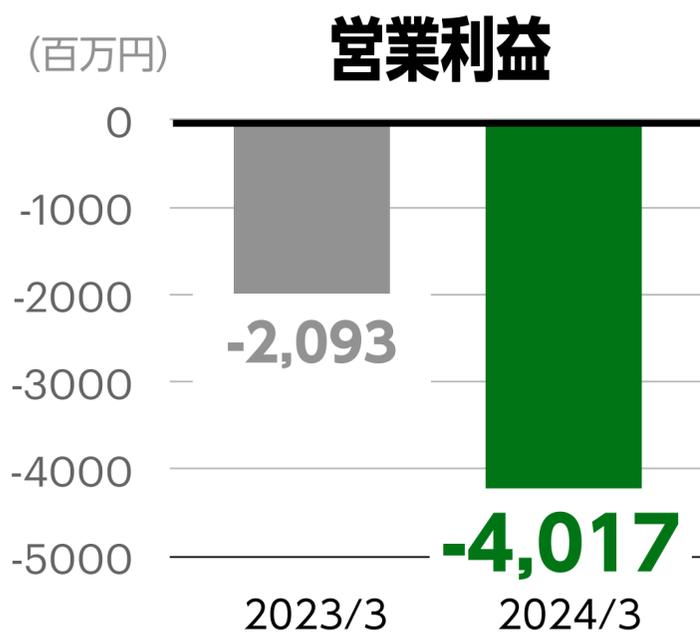
前期比約5倍と躍進

※This Place分を除外



投資 セグメント

Gorilla社株価下落が
主な減益要因



ソフトウェア事業を支える製品群



Asteria[☆] warp

10,000社超の
導入実績



Platio

“3日でアプリ”
成長率No.1[※]

※前期比売上収益152%



Handbook



Handbook[®] X

自律・分散・協調
時代の情報整理



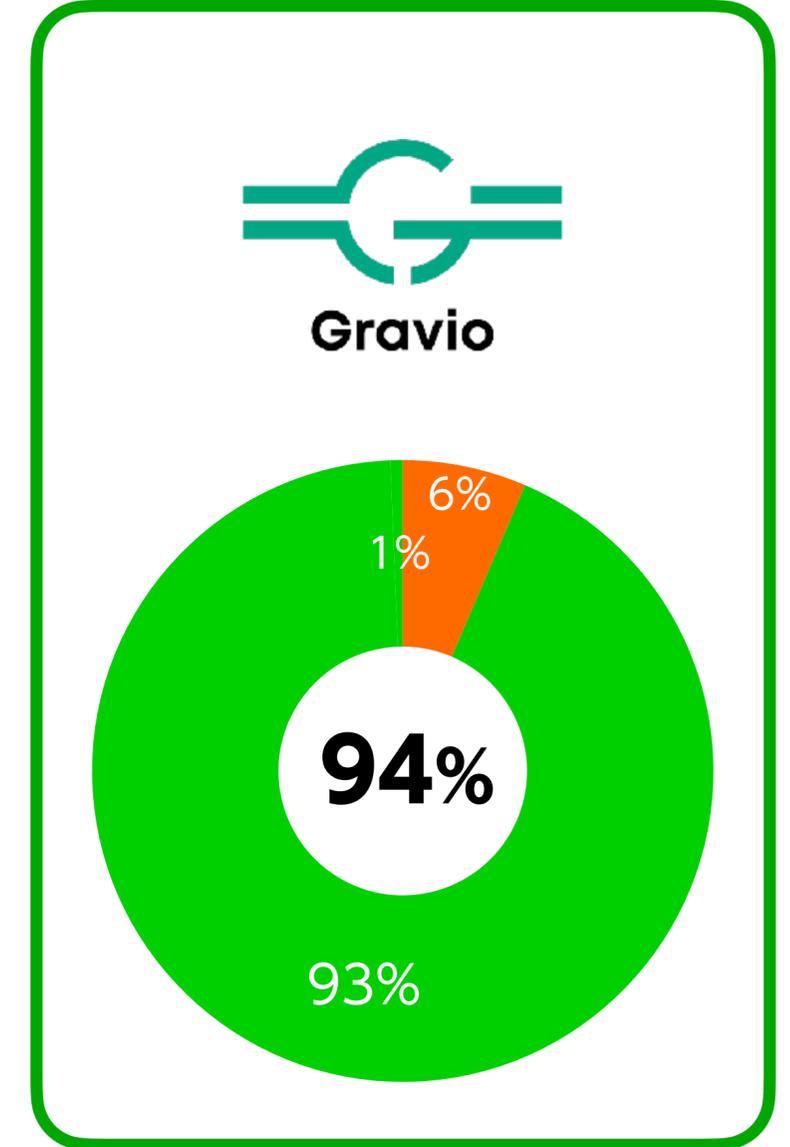
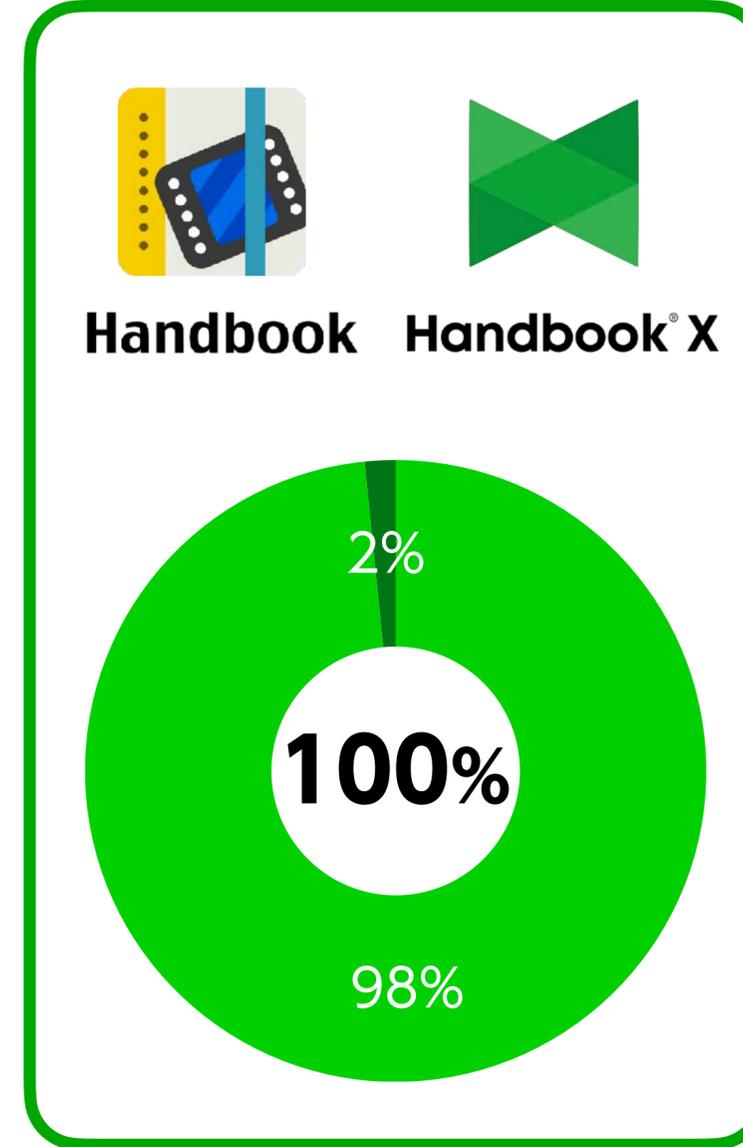
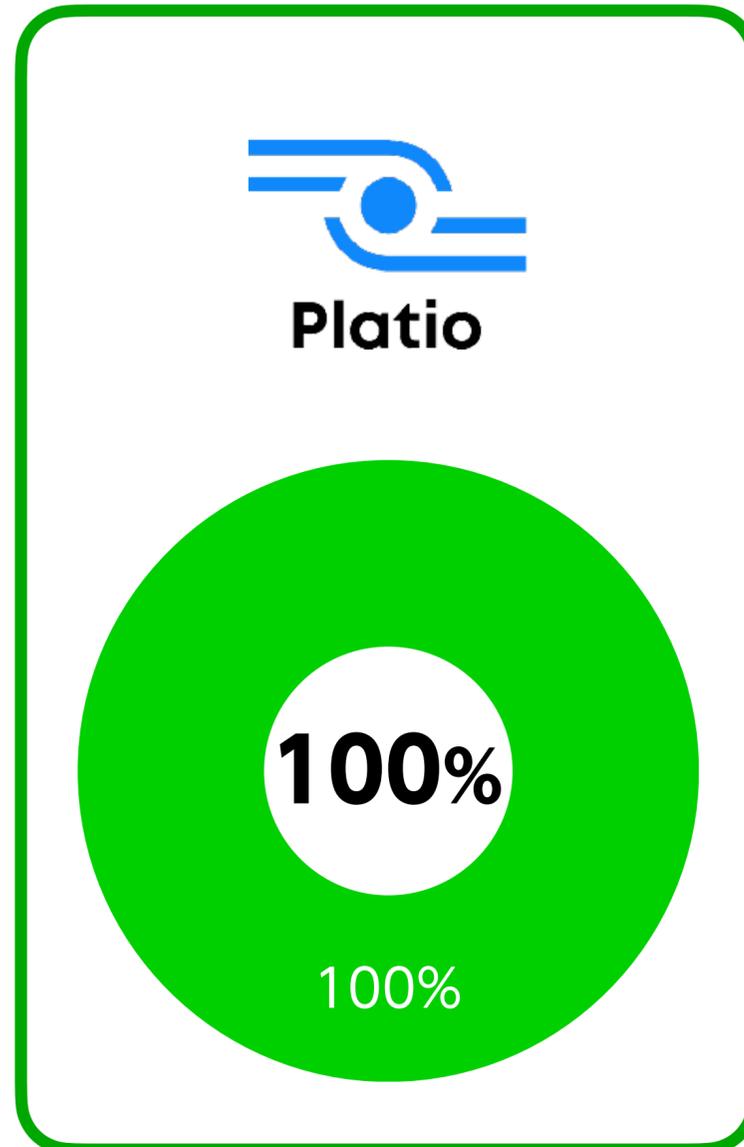
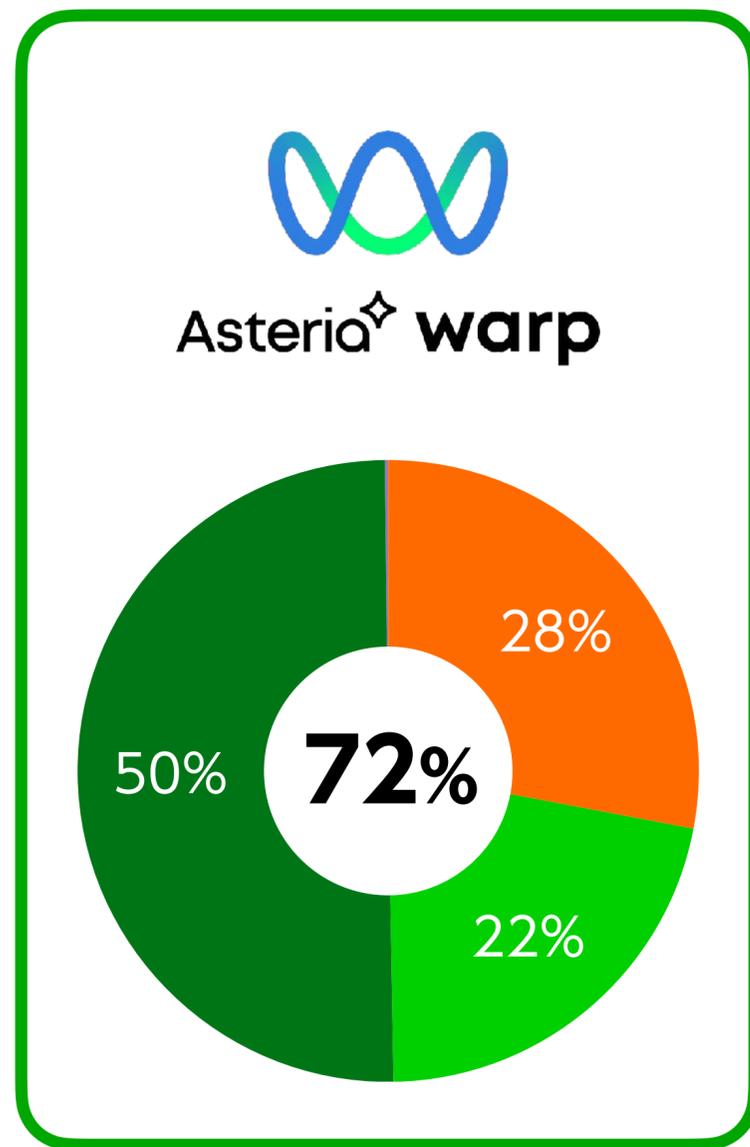
Gravio

AI/IoTの
データ連携

「ノーコード」かつ「つなぐ」製品を提供

ストック型(継続課金型)売上への転換が進む

✓ 安定成長の基盤となるストック型売上(サブスク+サポート)の割合が順調に増加



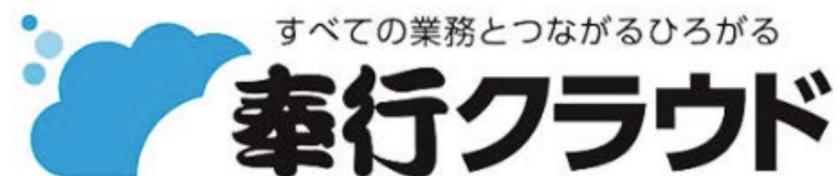
■ ライセンス ■ サブスク ■ サポート グラフ円内の%はサブスク+サポート

※金額ベース、2024/3通期実績

主力のWarpの売上が史上最高を記録

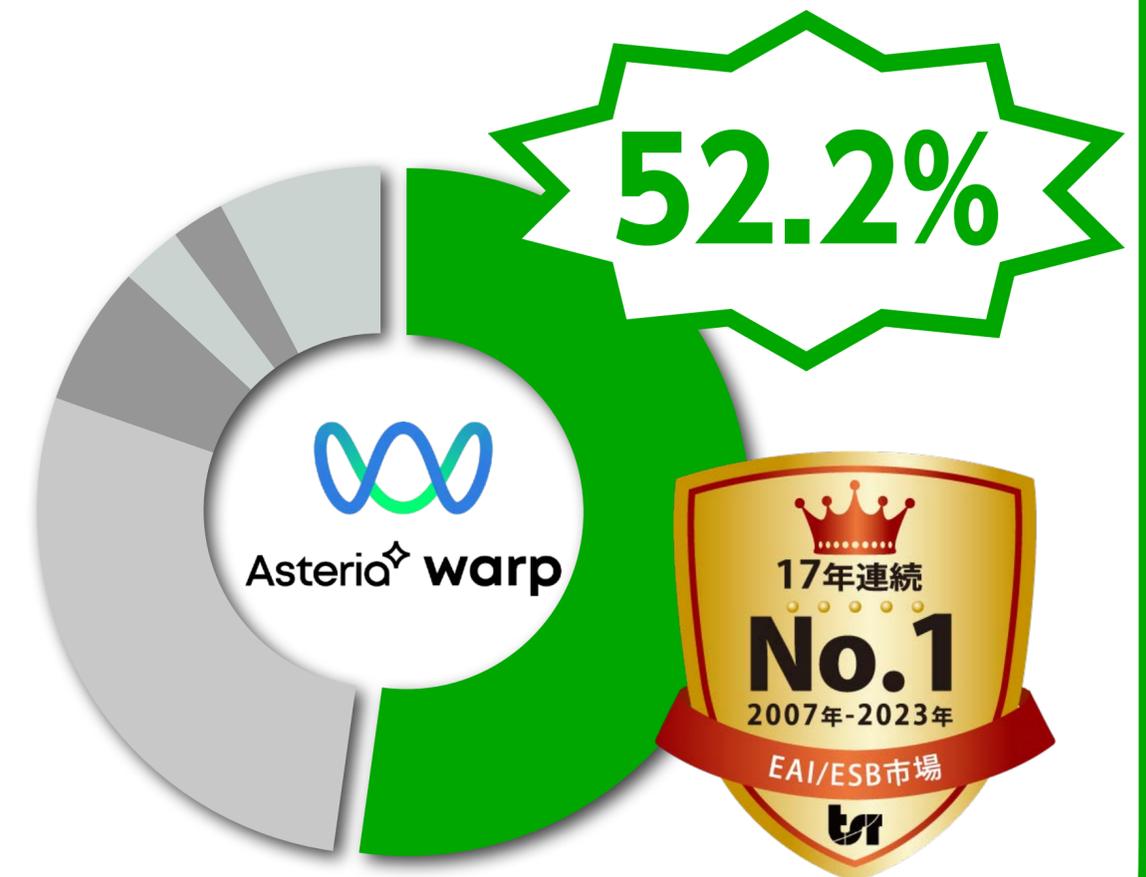
◆ サブスク売上が前年同期比 36%増

- ✓ 中小企業 (SMB市場) でのデータ連携ニーズ増加
↳ SMB市場に強いISVパートナーとの連携が奏功



- ✓ ライセンス販売 (単発) は減少も、プロジェクトや部門単位での局所的なサブスク導入が加速し、**24.9億円**を記録

圧倒的な市場シェアで
データ連携市場を牽引



出典：テクノ・システム・リサーチ
「2023年 ソフトウェアマーケティング総覧 EAI/ESB市場編」

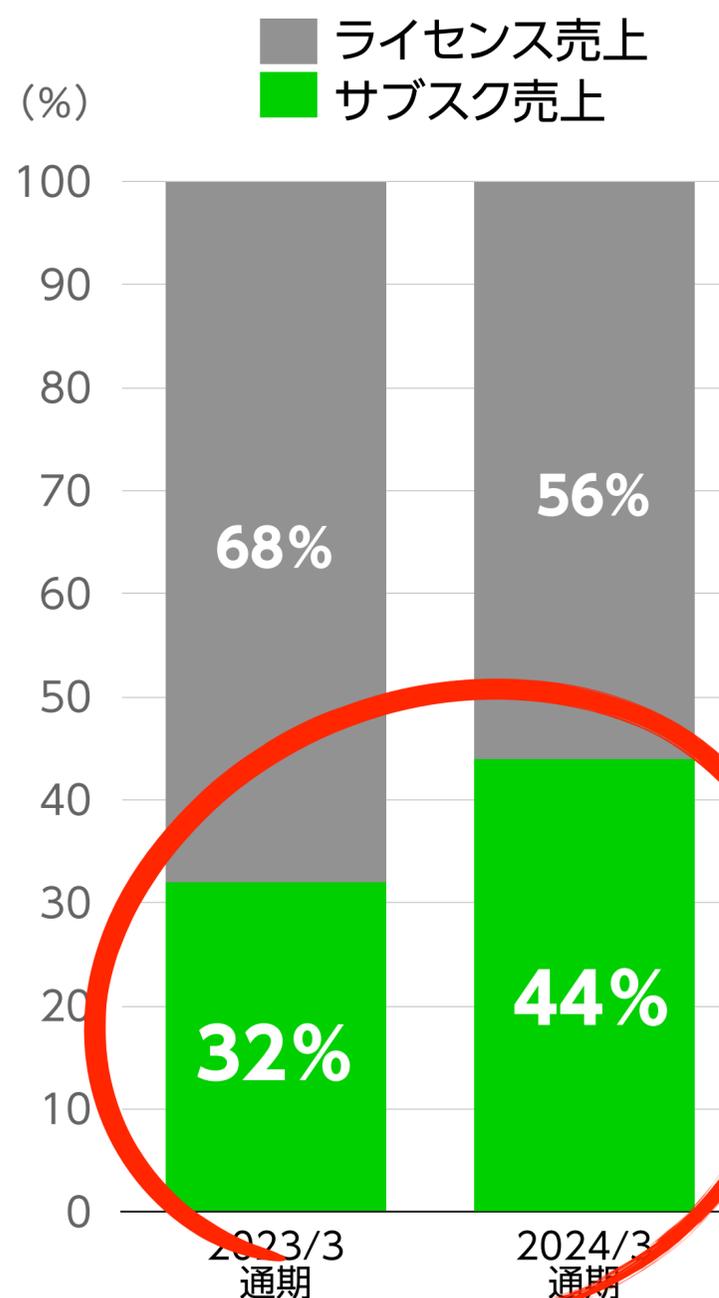
Warp: サブスク型への転換が順調に進む

- ✓ 製品売上の**44%**がサブスクに伸張
- ✓ サブスク**売上比率が12%増加**し短期で売上減も**中長期的売上増**に
- ✓ サブスク&低コストの**Core**は、**スモールスタート**可能
- ✓ MRR※の伸びが継続し新年度のARR※は**3億円超**が確実

※MRR = Monthly Recurring Revenue (月次継続売上)

※ARR = Annual Recurring Revenue (年次継続売上)

製品売上比率



Warpのサブスク製品 “Warp Core” MRR※推移



ARR※
3億円突破へ

Platio: 絶好調で前期比52%の増収

◆ 大幅なMRRの伸びが継続

- ✓ 現場のDXニーズが拡大し売上前期比**52%増**
- ✓ **2024年問題対応**で物流・建設業界の新顧客開拓へ
- ✓ DX推進でのデータ活用ニーズを背景に**Platio Connect** の引き合いが増加
- ✓ Platioラインアップ拡充により**顧客単価も向上**

物流・建設業界向け
テンプレートも充実



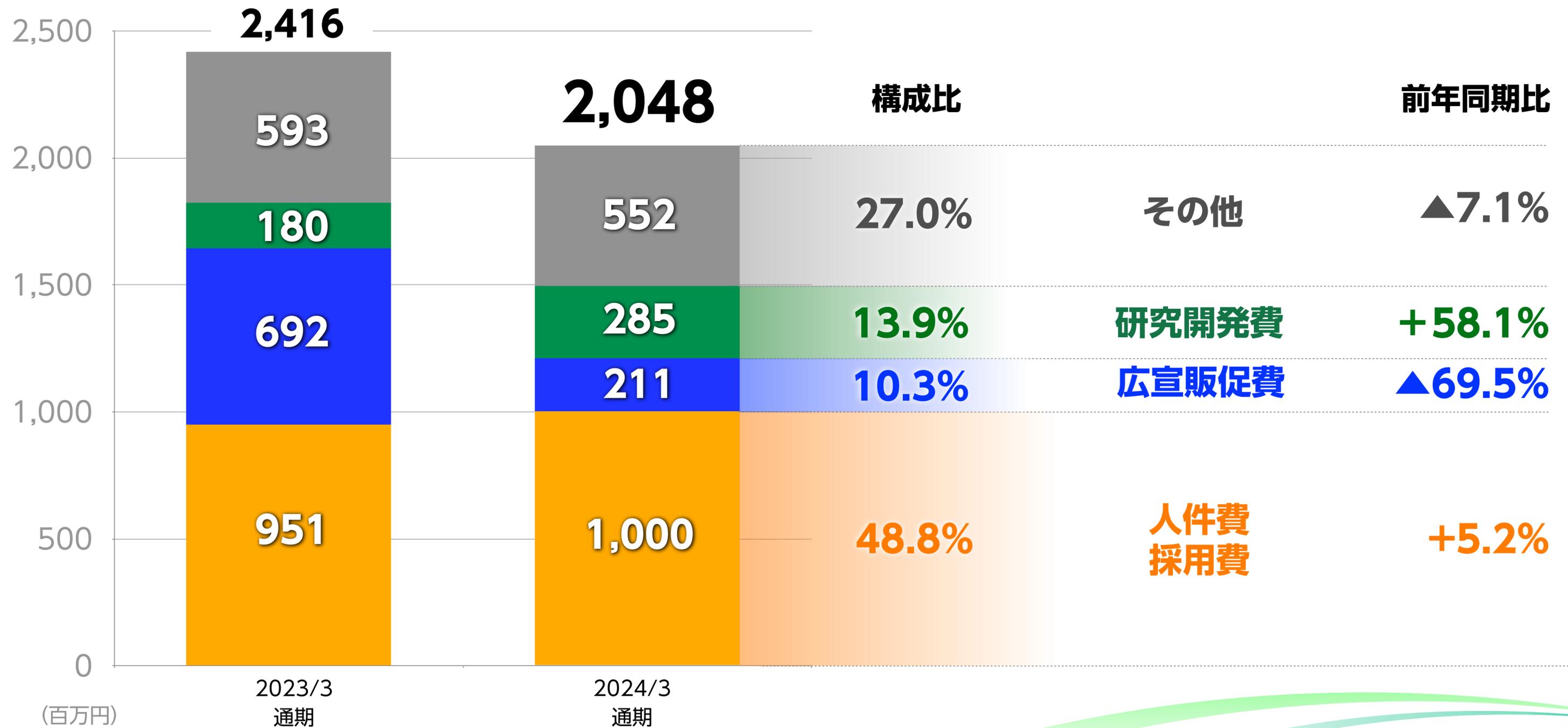
MRR※の推移 (直近24ヶ月)

※MRR = Monthly Recurring Revenue (月額継続売上)

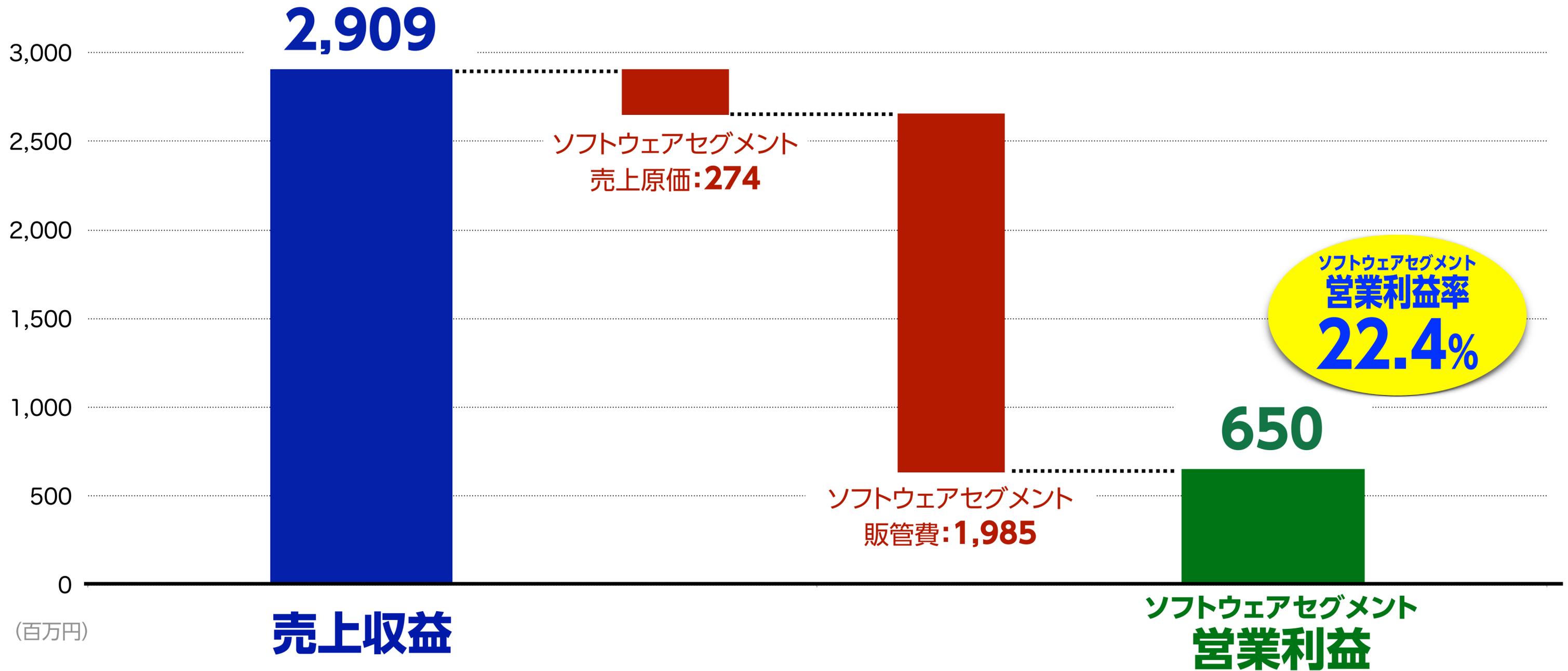


角度の高い
伸びを継続

販管費：先行投資一段落し販管費は大幅減

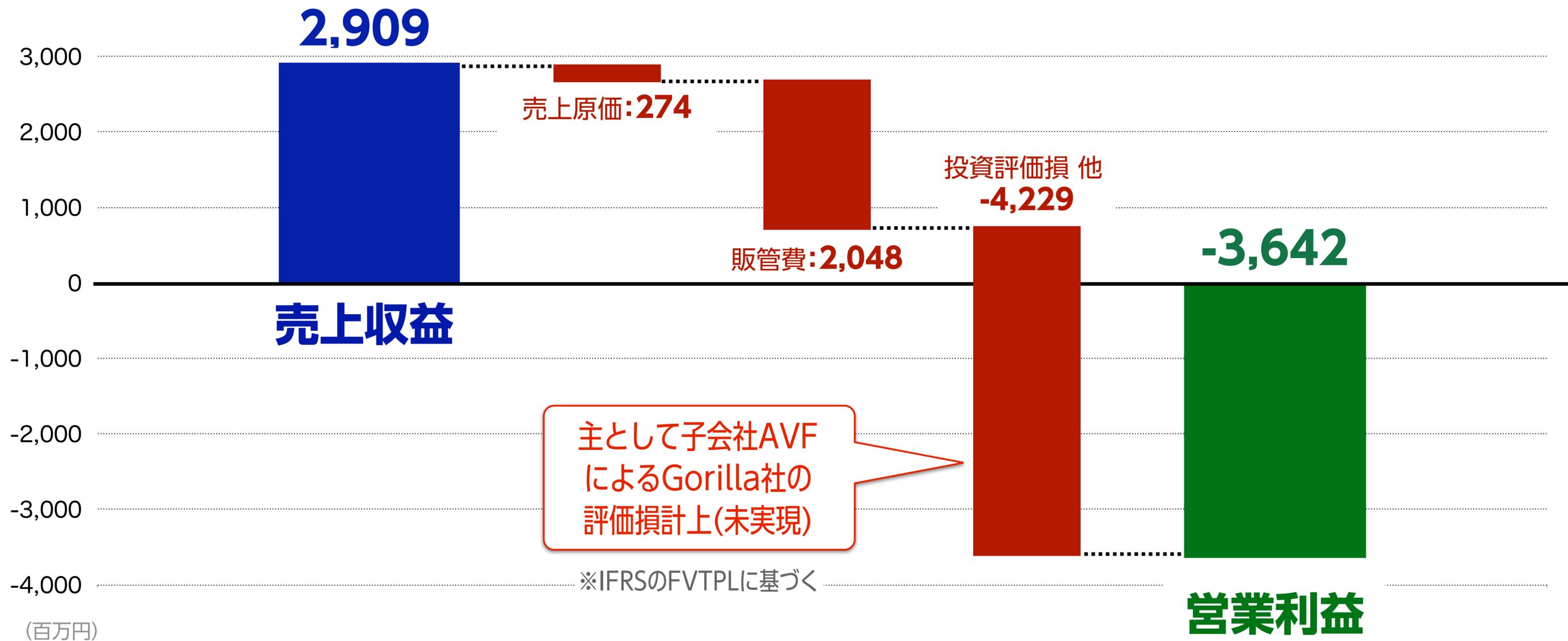


ソフトウェアセグメント:売上収益から営業利益まで

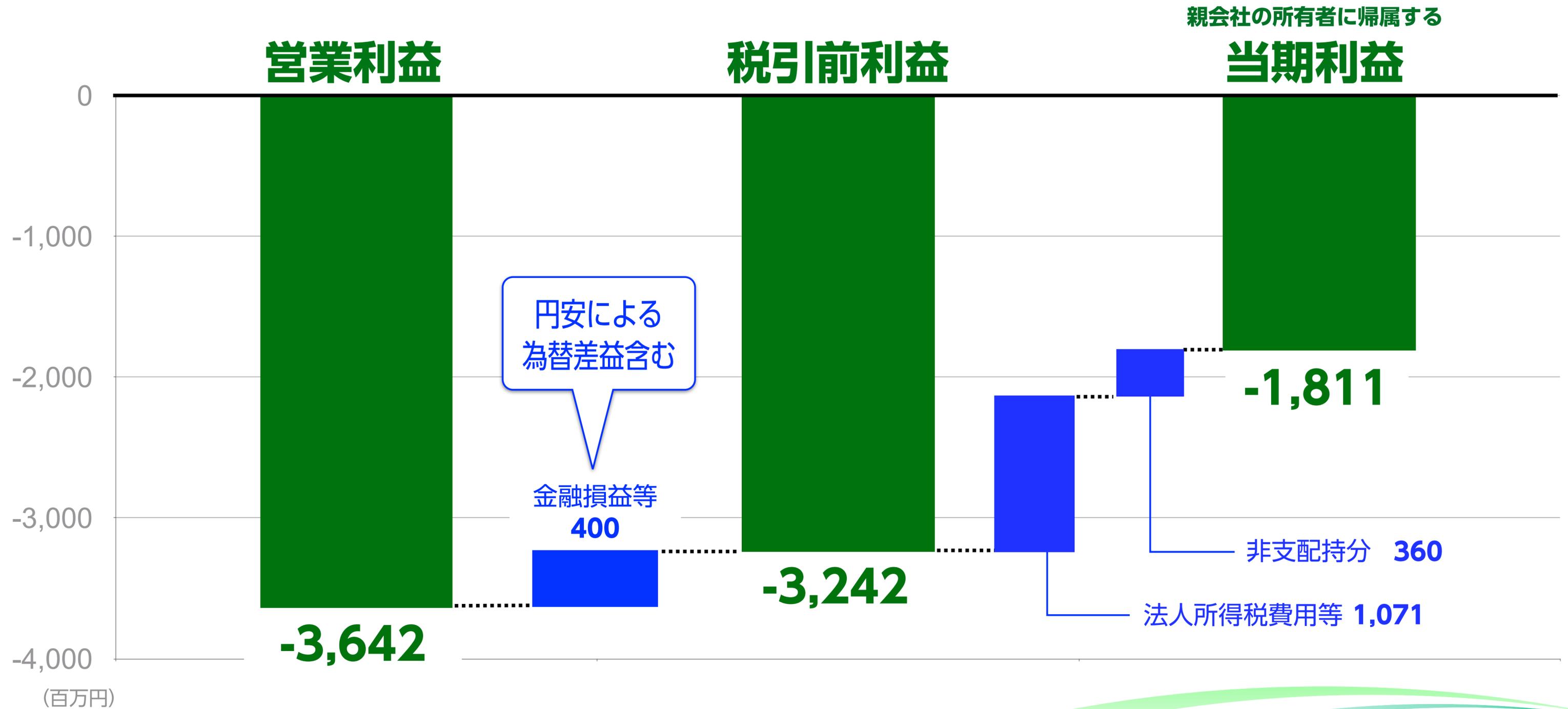


※This Place売却(3月22日付)により、継続事業となるソフトウェア事業のみ金額を表示

連結：売上収益から営業利益まで



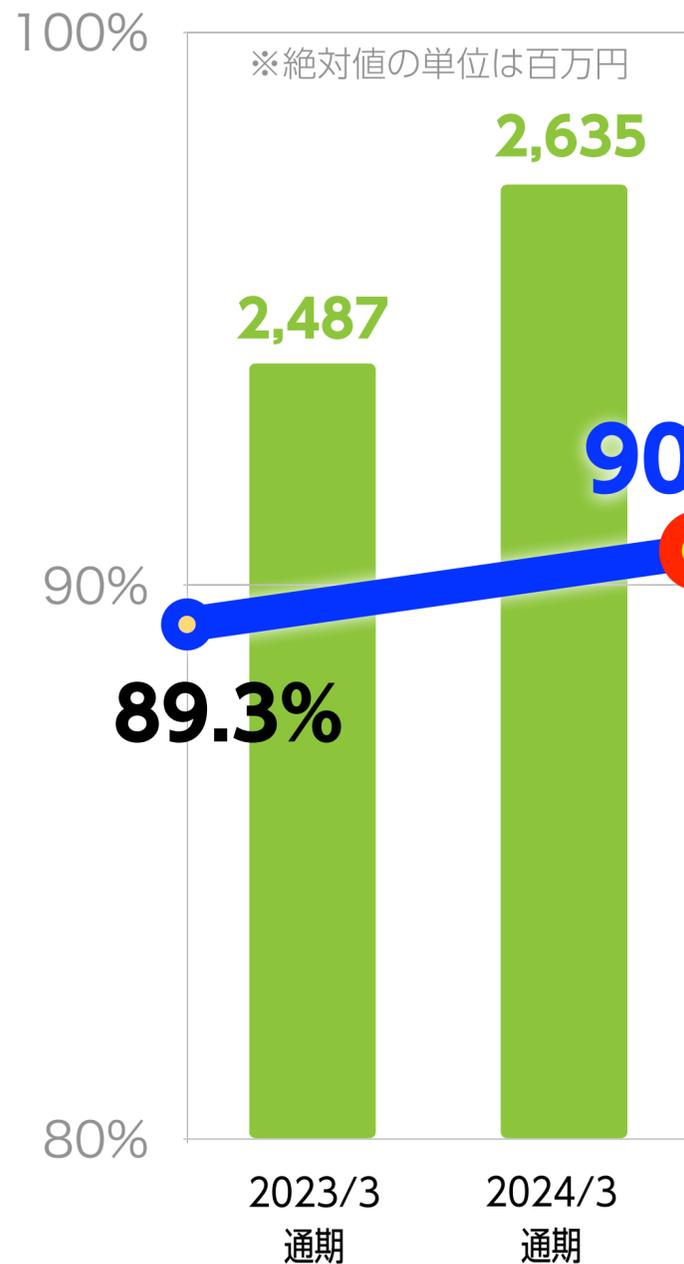
連結：営業利益/税引前利益/当期利益 (親会社の所有者に帰属する)



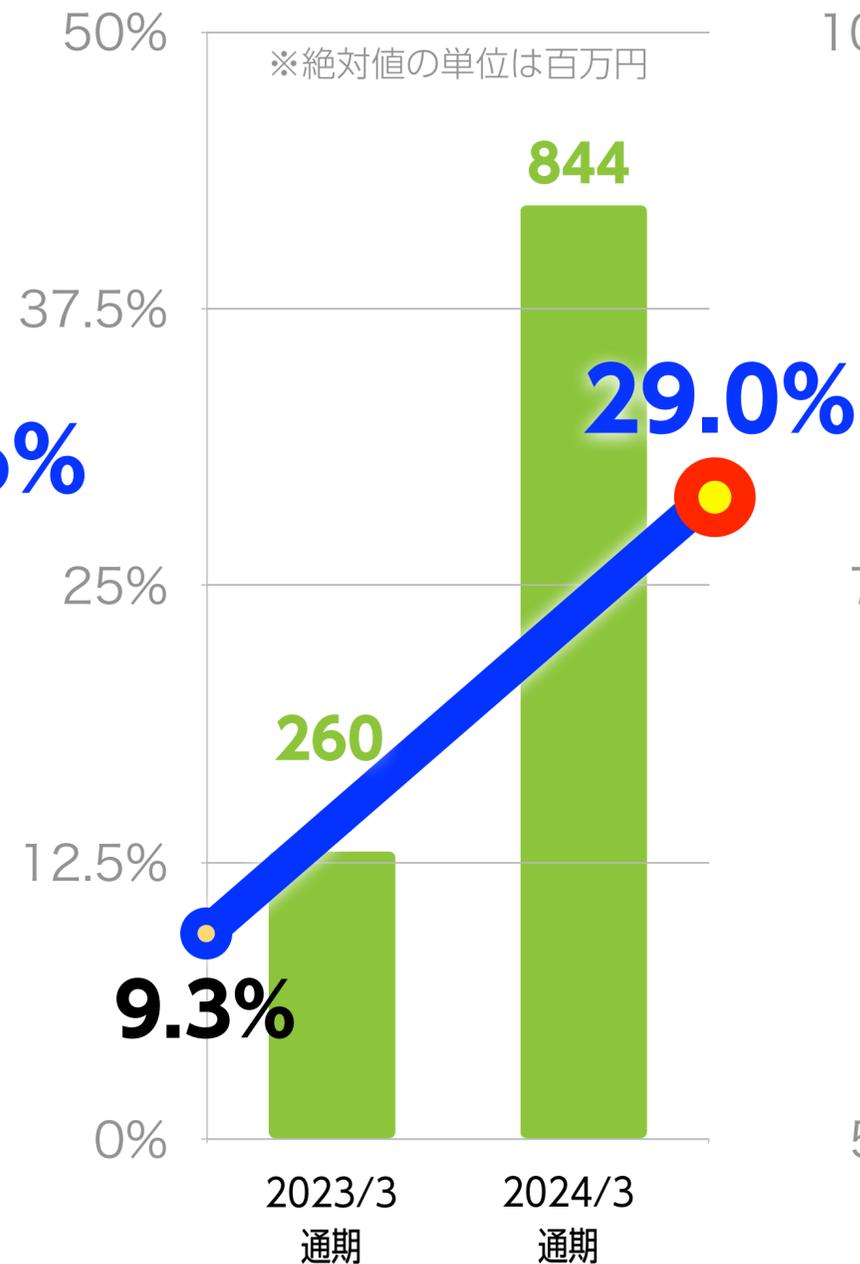
主な経営指標の推移

※事業再編につき指標も変更

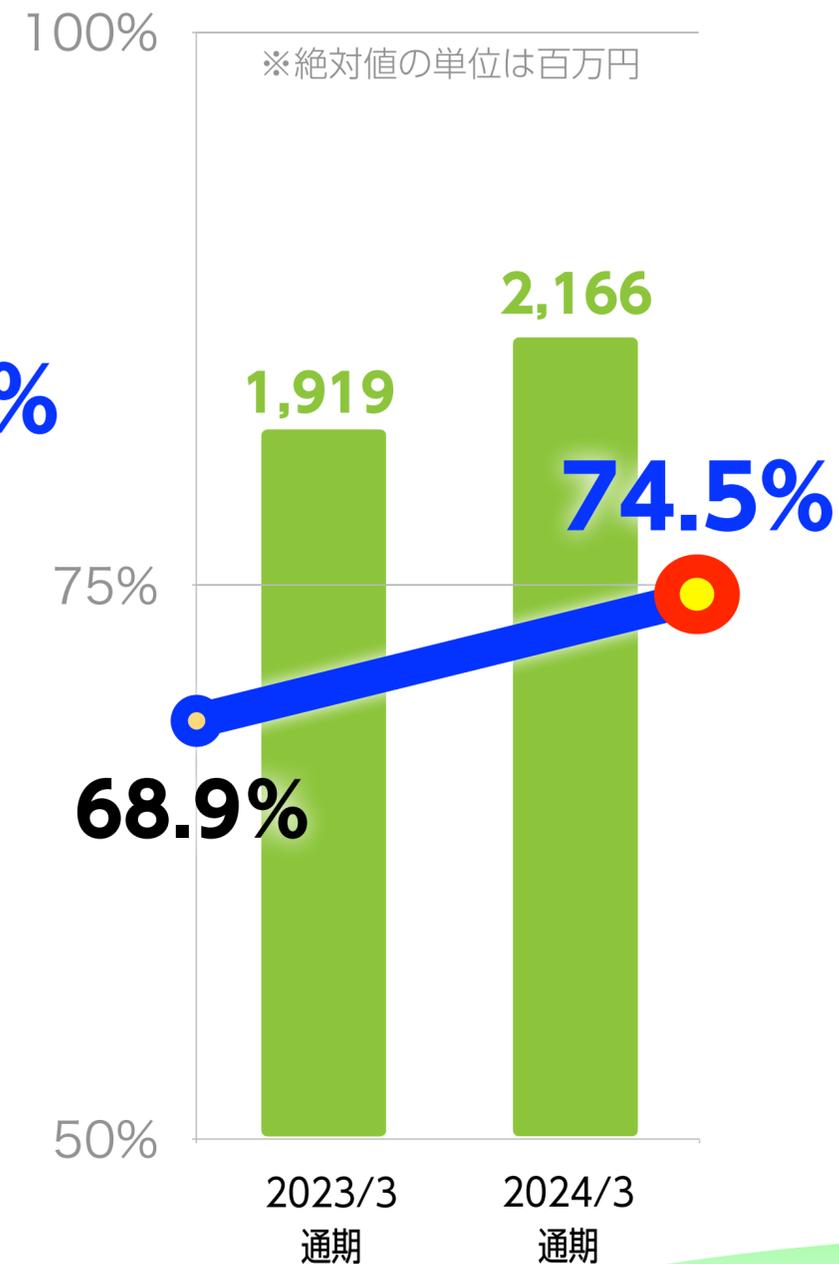
売上総利益/率



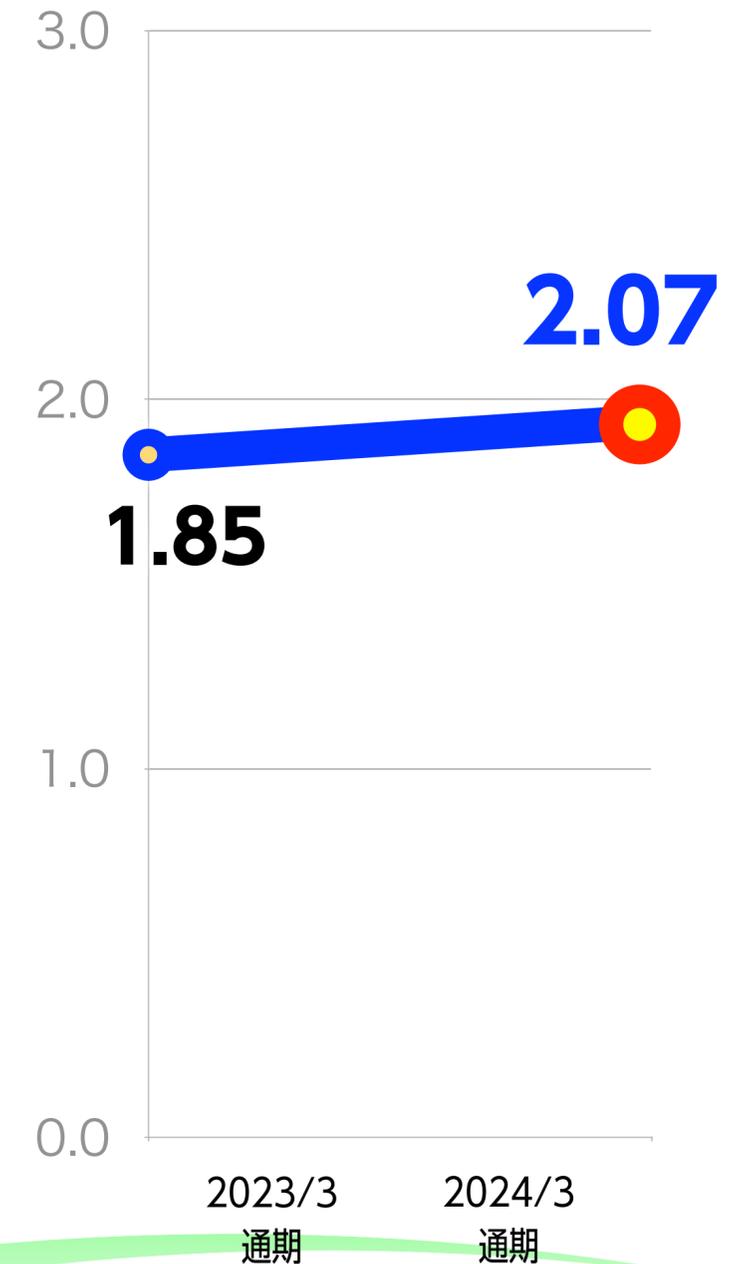
調整後EBITDA/率



継続型売上/率



PBR(株価純資産倍率)



財政状態計算書

✓ 将来的な減損の要因となりうる「のれん」は0

		2023年3月末	2024年3月末	増減
資産の部	現預金等	1,744	1,731	▲ 12
	営業債権	183	177	▲ 6
	その他流動資産	506	598	93
	有形固定資産	813	938	125
	のれん	0	0	0
	無形資産	151	241	90
	投資等その他	7,222	3,901	▲ 3,321
	資産合計	10,618	7,587	▲ 3,031
負債の部	借入金	243	243	0
	営業債務	282	113	▲ 169
	未払法人所得税等	75	0	▲ 75
	その他流動負債	825	892	68
	長期借入金	357	215	▲ 143
	その他非流動負債	1,207	367	▲ 839
負債合計	2,989	1,830	▲ 1,159	
資本の部	株主資本	6,441	4,835	▲ 1,605
	その他資本の構成要素	693	747	53
	非支配持分	495	175	▲ 320
	資本合計	7,629	5,757	▲ 1,872

✓ 健全な財務状況とキャッシュ・フローを継続

現預金等	自己資本比率
1,731 百万円	76%

キャッシュフロー計算書

(単位:百万円)	2024年3月期 通期	前期比較
営業活動による キャッシュ・フロー	630	395
投資活動による キャッシュ・フロー	▲427	▲431
財務活動による キャッシュ・フロー	▲310	27
現金及び現金同等物の 期末残高	1,731	▲12

アステリア (東証プライム:3853)

- ✓ **安定成長のための事業構造改革を実施「選択と集中」**
- ✓ **調整後EBITDAは8.4億円超の黒字** (This Place売却後)
- ✓ **サブスク製品(Core,Platio)が好調を継続**
- ✓ **上場した投資先の株価下落影響で連結は赤字**
(但しキャッシュに影響なし)



2024年3月期 通期決算説明会

お問い合わせ:03-5718-1655



LINEによるIRニュース

本説明会及び説明資料に含まれる将来の見通しに関する部分は、現時点で入手可能な情報に基づき判断したものであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、さまざまな要因の変化等により、これらの見通しと異なる場合がありますことをご承知おきください。

(証券コード：3853)